

5丁目町会長の萩野さんから一言



町内の皆さんは今の住環境に満足しているでしょうか。山や海にいったときのことを思い出して下さい。すんだ空気、青々とした緑、それに反して空気は汚い、日光が当たらない、風が強い、町が暗い、住みにくい町だと思いませんか。そこで、皆さんで住みよいまちにしていきたいと思います。皆様のご協力をよろしく願います。

6丁目町会長の卯原さんから一言

先般、芝浦工業大学・三浦研究室の学生の手伝いによる、「住環境調査」夜間照度調査が実施され、街灯の照度・位置・間隔・方向等を調査し、私どもは照度に対する関心度が薄く、大変考慮致すべき事柄と強く感じた次第であります。今までに一部の町内会会員の方より、「暗いから」との申し出がございました。又、事件・事故なども何件もありませんので、総て市役所に任せきりでございます。今後は町内会会員のみならずとよく協議の上、最善の手段を市当局に申し入れ明るい町、住み良い町、など今後に残して参りたく思う次第であります。

今年度みなさんと活動する担当学生



五・六丁目町内会のみなさんはじめまして。三浦研究室の子安直人と申します。実測調査や話し合いなど、みなさんが活動の中心です！



五・六丁目町内会のみなさんはじめまして。三浦研究室の佐藤元と申します。今回、五・六丁目町内会の住民の皆さまと実測調査を行うことになりました。多くの住民の方と調査できることを楽しみにしています。頼りない面もあるとは思いますが、今後ともどうぞよろしくお願い致します。



「夜道が暗い」「交通量が多くて空気が汚い気がする」「電車の音がうるさい」「何だか風通しが悪い気がする」など、今あちこちの町から様々な声が聞こえてきます。私たち三浦研究室では、こうした疑問をもつ住民のみなさんと共に、音、風、光、空気などについて着実な実測調査やアンケート調査を行い、安全の基準・生活に必要な量・みなさんのお考えなどの把握・研究に努めています。研究では住民のみなさんが主体となって住環境の改善活動に向き合い、住みよいまちづくりを行っていきけるように、適切なサポートを行います。みなさん一人ひとりの手で環境を創っていく参加型社会」の一端を担う実測調査活動に、ご賛同・ご理解のうえ、みなさんで活動を盛り上げていきましょう。

見えない町の実態が見えてくる 住快環プロジェクト

町会長を交えた話し合いを経てプロジェクトの始まり。現在に至る。

自治会・町会を訪問し最終決定。五・六丁目町会含む4地区に決定。

研究室で第一次選考。

65の自治会・町会が応募。

埼玉県・東京都下の市・区役所において自治会・町会名簿を入手。

1500の自治会・町会に募集要項を配布。同時に朝日新聞、主婦向けフリーペーパー「ジョッパー」にて募集開始。

【新聞の発行にあたって】

この草加市五・六丁目町内会住環境新聞は、住民の皆さまに住環境に対する興味を持っていただきたい、また住環境実測調査などの実際の活動に参加していただきたいの思いを込めて発行しております。この新聞を読んで少しでも関心を持っていただければ幸いです。なお、この新聞は毎月発行する予定です。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

これまでの経緯と プロジェクトの概要

今年度、三浦研究室では今まで行ってきた「住民主体の住環境改善活動のサポート」を「住快環プロジェクト」と名付け、自治会・町会の募集を行いました。

このプロジェクトの目的は、住環境に関して悩みを抱えている住民の方を、実測調査や話し合いの参加型の活動を通して、少しでも手助けしたいというものです。

募集から選考、第一回話し合いまでの経緯は上記のとおりです。その結果、今年度実測調査活動をする事になった自治会・町会は、ソフィア上尾自治会、桜田二・三丁目自治会、西新井宿自治会、そして草加市五・六丁目町内会です。

このプロジェクトの主役はみなさんです。これから行われる話し合いや実測活動をみなさんのアイデアで実りあるものにしていきましょう。



芝浦工業大学教授 三浦 昌生
 平成 13 年に私たちはさいたま市内のある自治会の皆さまとこの活動を始めました。環境調査は長年の経験がありましたが、自治会の皆さまと活動するのは初めてでした。私たちは話し合いのたびに、住民の皆さまに活動にご協力を」と何度も申し上げました。しかし、これは間違いでした。研究室が主体で、住民の皆さまにご協力いただくのではなく、正しくは「住民の皆さまが主体で、研究室がサポートする」のです。このことがわかったことが 1 年目の最大の収穫でした。それ以来、私たちは「ご協力」という言葉は使いません。住民の皆さまに「ご参加」といたきたいのです。私たちに身近な住環境が安全で健康的

「ご協力ではなく、ご参加を」
 第三回コラムを書く人を募集しています。内容は自分の周りの環境に関係あることです。少しでも興味を持たれた方はぜひご連絡ください。

第一回文章 佐藤元（三浦研究室）

第一回コラム（連載） 住環境マップとは？

住環境マップとは、騒音、空気の汚れ、風通しといった地域の様々な住環境を、地図上にわかりやすく表現したものです。

地域の住環境にそれなりの関心があっても、それを実際に調べたり、その結果をわかりやすく表現したりすることは容易ではありません。しかし、地域の住環境をわかりやすく表現した住環境マップがあれば、地域の住環境をより具体的に捉えることができ、地域をより良くする活動に役立ちます。

下記の図 1 は四丁目町内会の騒音実測調査によって得られたものを住環境マップとしてあらわしたものです。このように、その数値を色の濃淡で表すことによって、一目で地区全体の様子を捉えることができます。

住環境マップをもとにしてより良い住環境をつくるための住環境改善プランを私たちと一緒に考えていきましょう。



図 1 四丁目の騒音の住環境マップ

実際に活動してみませんか？

今回まちづくり活動を行っていく上で、話し合い・実測調査・住環境新聞の作成など、様々な活動を行っていきたくと思っています。「実際に話し合ってみよう」「実測調査に興味がある」「新聞を作ってみよう」など、少しでも興味がある方はぜひ下記の連絡先までお気軽にご連絡ください。

路上駐車・交通量の実測調査 および、調査に関する話し合い

話し合い日時：10 月 29 日（金）

場所：五丁目会館

時間：19:00 ~

実測日時：11 月 4 日（木）

集合場所：話し合いで決定後、掲示板に掲載

時間：話し合いで決定後、掲示板に掲載

（4 日は朝方を予定）

実測調査に関する話し合いを行います。話し合いの内容は、実測の場所・方法・時間などです。調査をするうえで、とても重要なことを決めていくのでぜひ参加しましょう。

なお、実測調査前に当日説明会を開催します。実測方法などは丁寧に説明します。興味のある方はぜひ参加してください。手続きなどはいりません。実測調査当日に集合場所にお集まりください。多数のご参加をお待ちしております。

協議会では、現在地区計画づくりに取り組んでいます。同時に、より安全・安心な地域づくりの為に、市に対して街灯の増設などの要望を出すことを考えています。そのためには科学的なデータが必要です。今回、芝浦工大のお力をいただきながら調査しますので、このチャンスをご理解くださり、みなさま、ぜひとも協力をお願いいたします。



まちづくり協議会会長
 山川令子さんからみなさんへ一言

年間スケジュール（予定）

10 月	第一回アンケート調査	住環境新聞は月に一回配布する予定です。
11 月	交通量調査・路上駐車実測調査 騒音実測調査	交通量調査と路上駐車実測調査を同時に行う予定です。
12 月	二酸化窒素濃度調査	全世帯にカプセルを配布し、調査を行う予定です。
	第二回アンケート調査 懇談会	これまでの調査結果の報告と実測データを生かしたこれからの方向性について話し合います。

お問い合わせ先

芝浦工業大学

システム工学部 環境システム学科 三浦研究室

〒337-8570 埼玉県さいたま市見沼区深作 307

TEL 048-687-5832

FAX 048-687-5199

Email : r01030@sic.shibaura-it.ac.jp（子安）

URL: <http://www.mmlab.se.shibaura-it.ac.jp/>

担当学生：子安直人 佐藤元